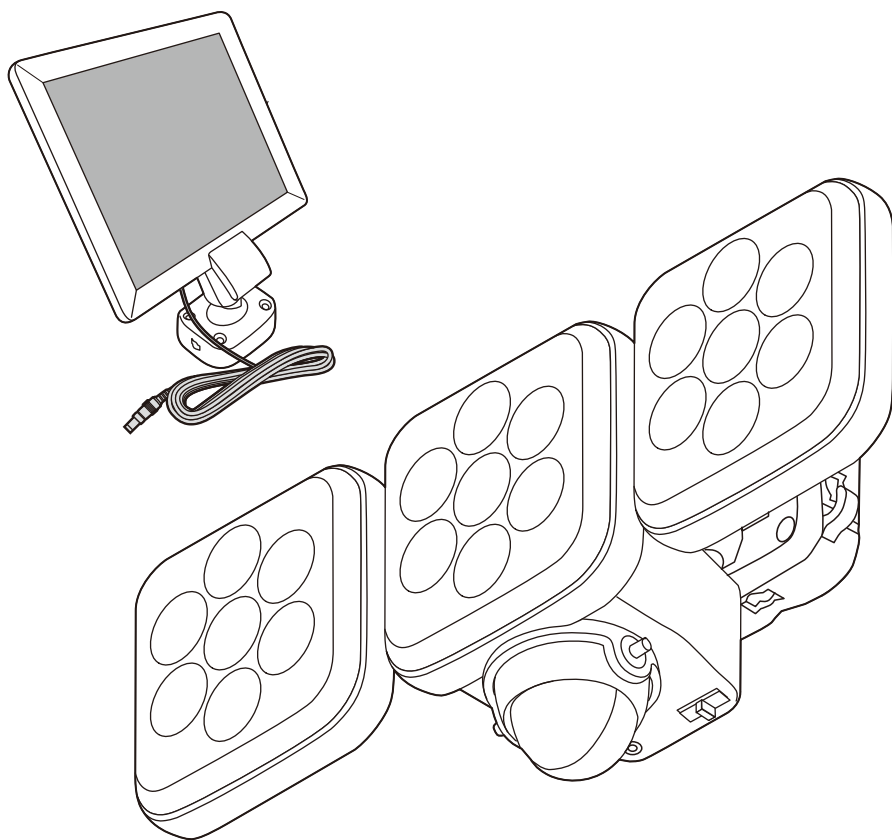


5W×3灯フリーアーム式LEDソーラーセンサーライト

取扱説明書

保証書

この度は、**RITEX 5W×3灯フリーアーム式LEDソーラーセンサーライト**をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの「**取扱説明書**」をよくお読みになり、正しくお使いください。
本書は、お読みになった後も大切に保管してください。





1. 安全上のご注意


お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を防止する為に、必ずお守りいただきたいことを説明しています。安全にお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。


■ 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


■ お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。(下記は絵表示の一例です)

 **警告** 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。

 **注意** 「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

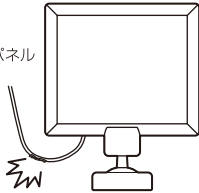
ソーラーパネル、充電電池について

ソーラーパネルのケーブルを破損させない



禁止

ソーラーパネル

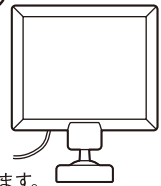


ソーラーパネルのケーブルを破損する、無理に曲げる、加工するなどしない。
また、重いものを乗せる、挟み込むなどしない。
火災、感電、故障の原因になります。

専用のソーラーパネルを使用する



火災、感電、故障の原因になります。



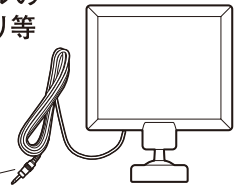
ソーラーパネルのプラグのほこり等を取る



差込プラグ

時々点検してください。
ソーラーパネルの差込プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

絶縁不良やショートで火災、感電の原因になります。



ソーラーパネルのケーブルが傷んだ時(芯線の露出、断線など)は、使用しないでください



禁止

そのまま使用すると、火災、感電の原因になります。

充電電池より異臭、発熱、変形に気が付いた時は



ソーラーパネルの差込プラグを本体から外し、電源スイッチをOFFにしてください。
使用を中止し、弊社にご相談ください。

充電電池を交換の時は



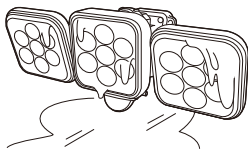
濡れた手や、本体が濡れた状態での、充電電池交換はしないでください。交換の際は、ソーラーパネルの差込プラグを本体から外した状態でお取替えください。
感電、故障の原因になります。

ご使用や設置について

本体は大量の水がかかる場所に設置しない



禁止

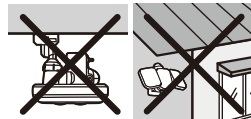


通常の雨、風には耐えますが、水の直接噴流には耐えられません。
※本機は、保護等級IP44のセンサーライトです。

屋内・屋外に関係なく斜め向き、下向き、逆さまに取付けない



禁止 故障の原因になります。



点灯中はLEDライト部を直視しないでください

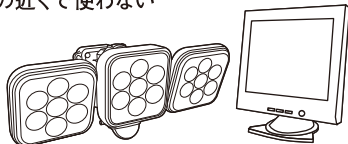


禁止 目を痛めるおそれがあります。

家電製品の近くで使わない



禁止



テレビ、ラジオ、電子レンジ、蛍光灯、電話、ファックス、パソコン、OA機器や家電製品から2m以上離してください。
故障、誤動作の原因になります。

付属品を使用する



必ず付属品で取付け、配線をおこなってください。
落下、故障の原因になります。

引火性溶剤は使わない



禁止

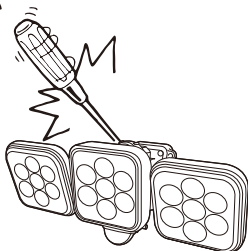


清掃のときは、水で濡らせた布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナー等の引火性溶剤は使用しないでください。火災、感電の原因になります。

分解や改造をしない



分解禁止



修理や内部の点検は、販売店にご相談ください。
火災、感電、故障の原因になります。

燃えやすい物の近くに取付けない



禁止



布や紙など燃えやすい物や引火しやすい物の近くには絶対に取付けしないでください。
昼でも本体に物(布団や布等)を被せると点灯し引火する危険があるので絶対にしないでください。
火災の原因になります。

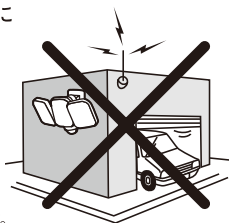
⚠ 注意

ご使用や設置について

電波を出す器具の近くに取付けない



禁止



故障、誤動作の原因になります。

モーターや磁場を発生させる装置の近くに置かない



禁止



故障の原因になります。

※本機は本格的な防犯機器ではありません。強盗・盗難などの被害における責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがあります。

2. 取付け前の注意

■ センサーは、周囲の明るさと温度変化に探知するので、図のような場所に取り付けると、誤動作や作動しないときがあります。



4. ご使用前にご確認ください

ご使用前に必ず下記の事項をご確認の上、安全にご使用ください。
指定された用途以外には絶対にお使いにならないでください。

確認
チェック

ご購入後は充電が不十分です。
晴天の日に約2日間充電した後、
使用してください。

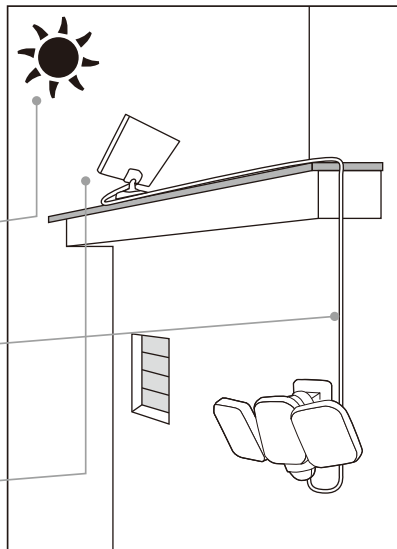
数日間天候の悪い日が続くと充電が不十分になります。
※電源スイッチをOFFにして充電して下さい。
また、ソーラーパネルの差込プラグが本体にしっかり
差込まれているか確認してください。

確認
チェック

ソーラーパネルの
コードは約5mです
本体との距離を確認の上、取付けてください。

確認
チェック

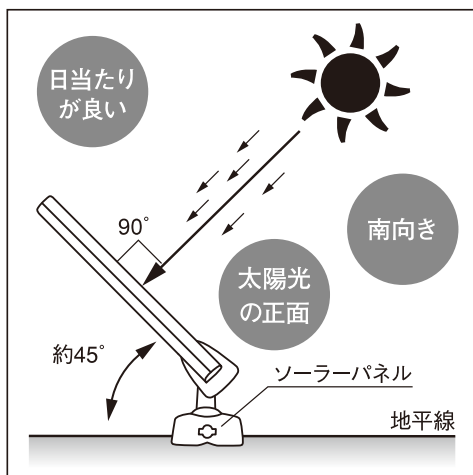
ソーラーパネルを
正しく取付けてください
※「13.ソーラーパネルの取付け方」参照



取付けは確実に！

本体・ソーラーパネルは、安全な場所に確実に取付けてください。
また、事故を防ぐ為、安定した足場や十分な作業スペースを確保してください。
※「12.本体の取付け方」、「13.ソーラーパネルの取付け方」参照

ソーラーパネルの取付け場所

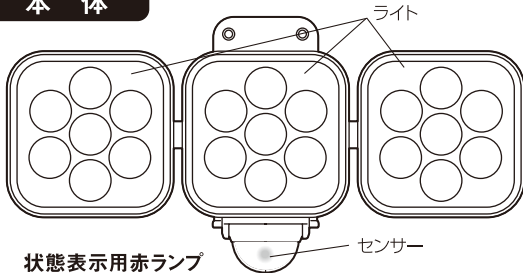


※地平線に対し約45°がもっとも充電効率のよい角度です。

- 1 直射日光の当たる南向き
- 2 地平線の上方向約45°
- 3 日照時間の長い場所
- 4 木やビル等、太陽光を妨げるものがない場所
- 5 太陽光に対し正面になるようソーラーパネルの角度を調節

5. 部位説明

本体

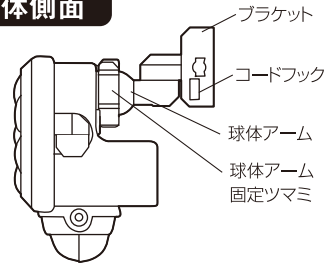


状態表示用赤ランプ

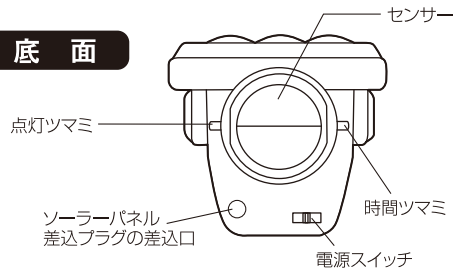
- ・待機時は約5秒に1回点滅
- ・センサー探知時は高速点滅
- ・充電不足時は1秒に1回点滅

※充電電池が完全に放電している場合は点灯しません。

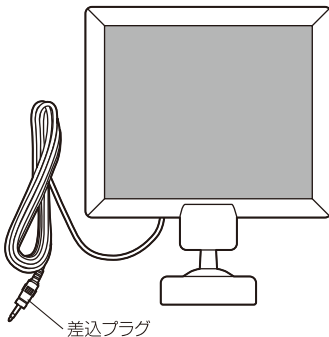
本体側面



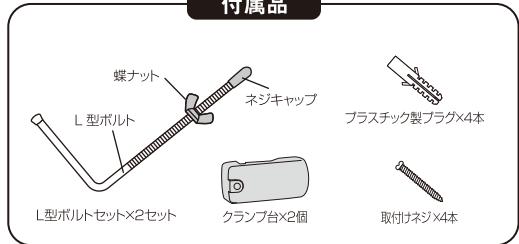
底面



ソーラーパネル



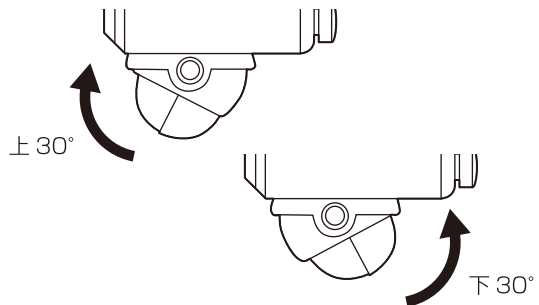
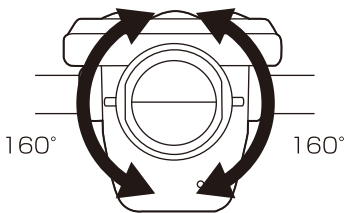
付属品



6. センサーの向き調整

・左160° 右160° 回転します。

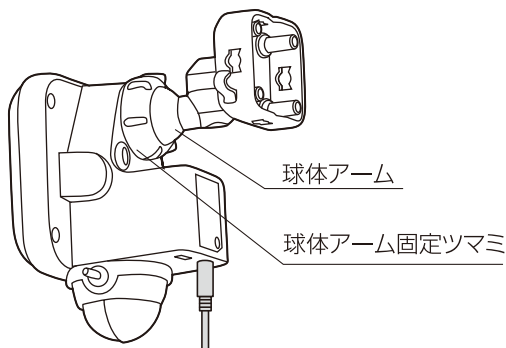
・上30° 下30° 回転します。



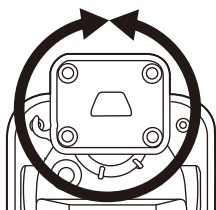
7. 本体の向きの調整

■ 本体全体をお好みの方向に向けます。

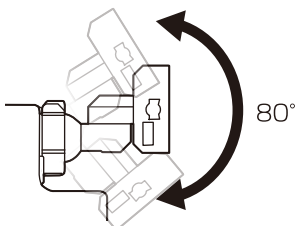
- ① 球体アームの角度調整は球体アーム固定ツマミを手で少し緩め本体を向けたい方向に向け、締めて固定します。



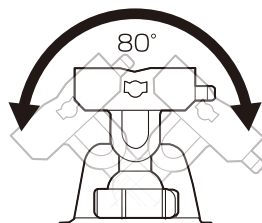
・360° 回転します。



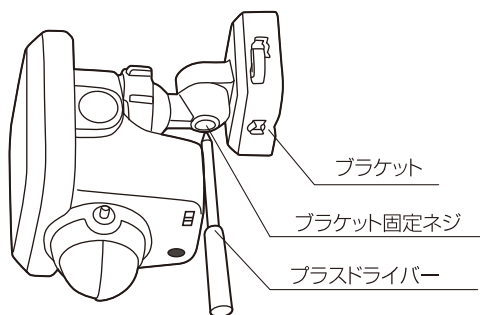
・約80° 回転します。



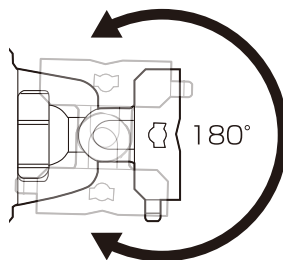
・約80° 回転します。



- ② ブラケットの角度調整はブラケット固定ネジをプラスドライバーで少し緩め本体を向けたい方向に向け、締めて固定します。



・約180° 回転します。

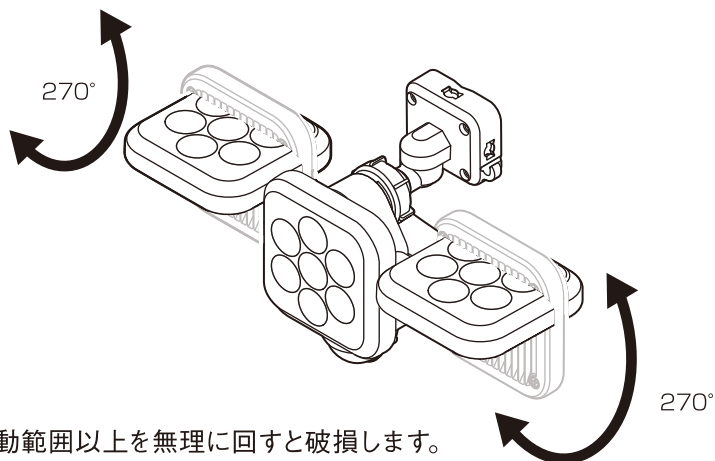


※ 球体アームの角度調整と合わせて調整すれば左右上下自在に調整できます。

8. ライトの上下の向き調整

■左右のライトを照らしたい方向に向けます。

・左右のライトは上90° 下180° 回転します。

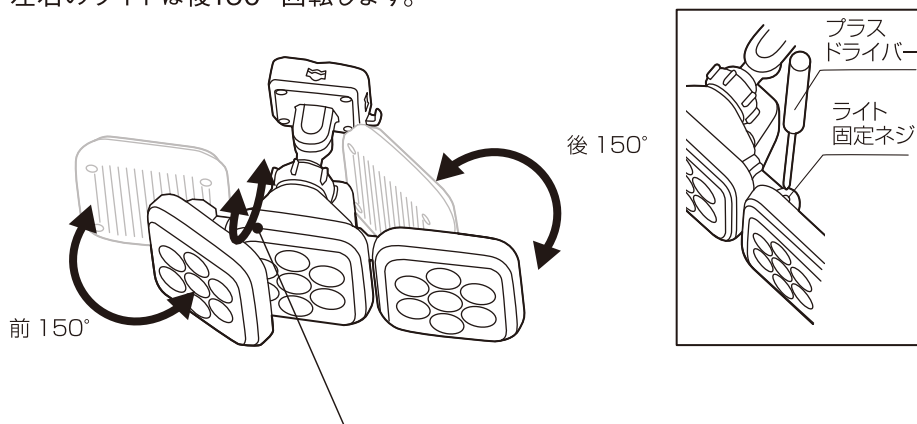


9. ライトの横向きの調整

■左右のライトを照らしたい方向に向けます。

ライトの向き調整後にプラスドライバーでライト固定ネジを締め固定します。※緩んでいると水が入るおそれがあります。

・左右のライトは後150° 回転します。



※ “8. ライトの上下の向き調整” で下180° に回転させると前後の回転が逆になります。

10. センサーの探知範囲

■センサーは、最遠約8m×140°の範囲で動く人を探知します。

※センサーに向かって左右に横切った場合は敏感に反応しますが、センサーに向かって直進した場合は、極端に探知が鈍くなります。図1、図2の条件に合う場所に取付けてください。

※夏場の周囲の温度が高く、人からでる体温との差が小さい場合は、探知が鈍くなり、ときには探知しない場合があります。

- ・取付け高さが2mの場合の探知範囲です。
- ・取付け高さは最高3mまでです。
- ・取付け高さを半分にするると探知範囲は、図の半分になります。

図1

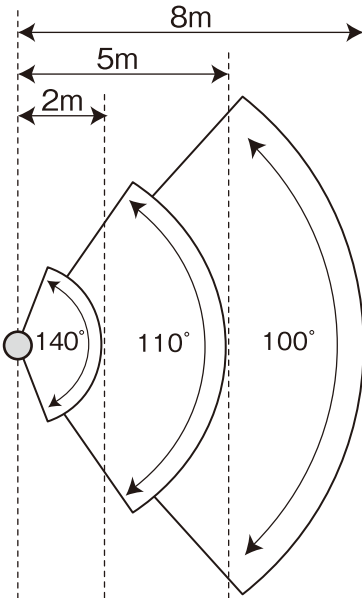


図2

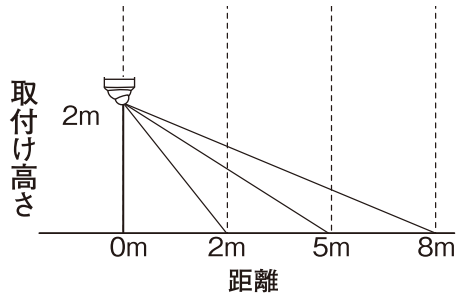


図3

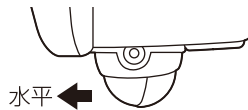


図4

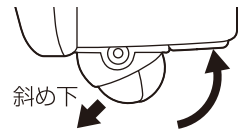


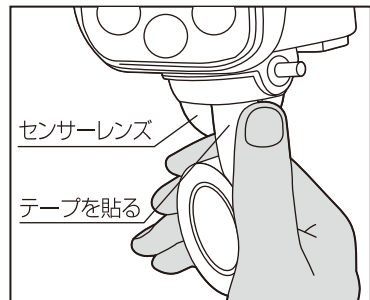
図3:センサー部は水平に向けて使用してください。

図4:センサー探知を短くしたい時は、センサー部を下に回転させて調整してください。

探知範囲を狭くする

- ・探知範囲を狭める場合はセンサーレンズに透明か白色のビニールテープを貼ります。
(セロハンテープは薄いので二重に貼ってください)
- ・側面に貼ると探知角度が狭くなります。

※センサーレンズ内に明かりセンサーも内蔵されていますので色の濃いビニールテープを貼ると夕刻や昼間でも点灯を開始する場合があります。

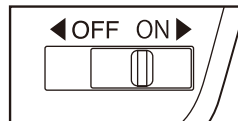


11. センサーの動作テスト

- ① 時間ツマミを「5秒」に回す
点灯ツマミを「昼」に回す



- ② 電源スイッチをONすると
ライトが点灯します。



点灯 ▶ 消灯

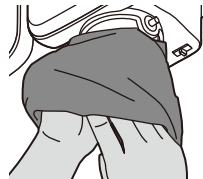
初期動作安定のため、約5～30秒後に消灯します。

※点灯中は、探知範囲に入らないでください。
※製品・設定により、点灯時間が異なる場合があります。

- ③ 黒い布などを被せ、
センサー部を完全に
反応させないように
します。



- ④ 黒い布などに手を入れ
センサーレンズに
近づけ、点灯したら手
を抜きます。



点灯 ▶ 消灯

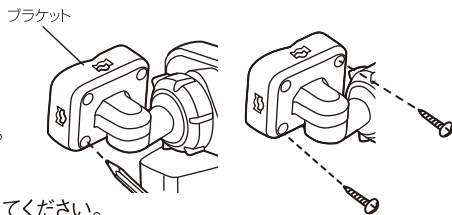
※手を抜き取ってから約5秒後に消灯します。

- ⑤ 基本動作の確認が完了しました。“12.本体の取付け方”を参照して取付けてください。

12. 本体の取付け方

壁に直接ネジで取付け

キリ、鉛筆などを本体取付け用ネジ穴に通し、
壁などに印を2ヶ所付けます。



- ① 木材の壁等に取付けの場合

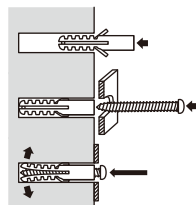
付属の取付けネジ2本でしっかりと固定してください。

- ② コンクリートの壁に取付けの場合

ブロック、レンガ、タイル等の場合もこの方法で行ってください。
コンクリート用プラスチックプラグを使用してください。

1. 電気ドリル等で6mmの穴をあけ、付属のコンクリート用プラスチックプラグを図のように差込み、金槌等で軽く叩いて表面を合わせます。

2. 取付けネジ2本で、本体を取付けます。

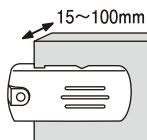


- ③ アルミ板、薄鉄板に取付けの場合

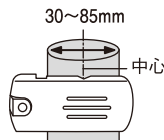
取付ける位置に3.3mmの穴をドリル等であけ、付属の取付けネジ2本でしっかりと本体を取付けます。

クランプ台で挟む取付け方

⚠ 注意 クランプ台での取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。



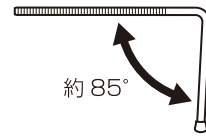
角柱・壁は奥までしっかりと入れて、挟み込んでください。



丸柱・パイプは大きさに合わせて挟む位置を替えてください。

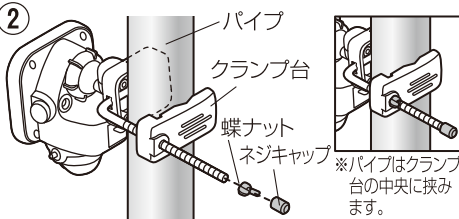
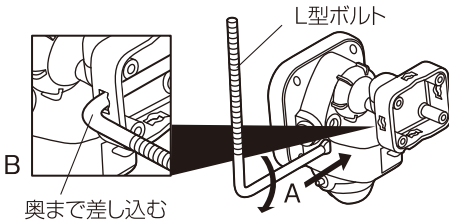
L型ボルトの形状

※クランプ台で挟み込む力を最大限に生かす為、L型ボルトは90度ではなく約85度の角度に曲げています。



縦向きの柱、パイプの場合

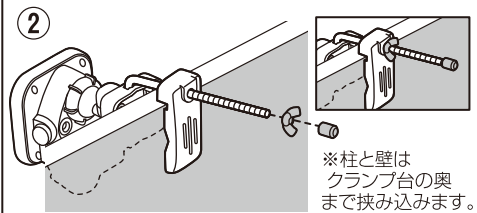
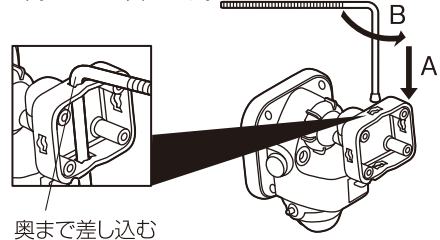
- ① L型ボルトをAの向きに奥まで差し込み、Bの向きに90°回します。



L型ボルトのネジキャップと蝶ナットを取り、柱、パイプの間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

横向きの柱の場合

- ① L型ボルトをAの向きに奥まで差し込み、Bの向きに90°回します。

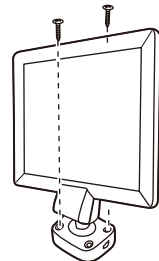


L型ボルトのネジキャップと蝶ナットを取り、柱、パイプの間で、クランプ台を穴に通し、蝶ナットでしっかり締めます。ネジキャップを付けてください。

13. ソーラーパネルの取付け方

壁に直接取付ける場合

1. 木製の壁等に取付ける場合、付属のパネル取付けネジ2本で、4つの穴から対角の穴2つを選び固定してください。
※φ3mmの下穴を開けてから行ってください。
2. コンクリートの壁やアルミ板、薄鉄板への取付けは、「12.本体の取付け方」と同様です。
3. “12.本体の取付け方”を参照し、クランプ台で挟む取付け方でも使用できます。



(別売)SP-7ステンレスバンドでの取付け方

本機には、ステンレスバンドが付属されておりません。
ステンレスバンドで取付ける場合、別途ご購入ください。

○推奨ステンレスバンド

[品番 **SP-7**]RITEX センサーライト用ステンレスバンド

¥1,400(消費税・送料込み)

なお、入手困難な場合は直接弊社にご注文いただければお送り致します。

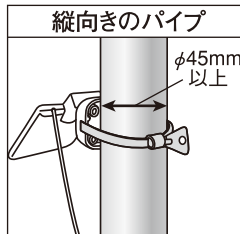
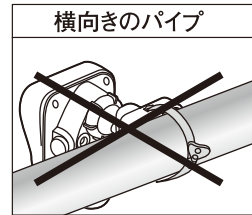
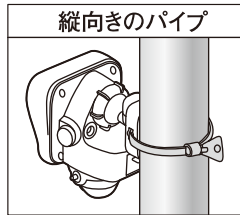
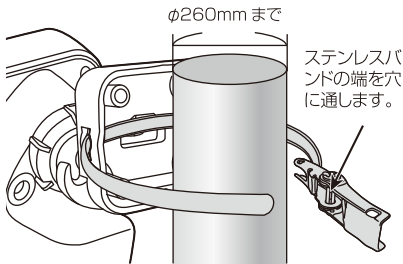
※ただし、代金は前金でお願いします。郵便切手でも結構です。

代金お支払い手数料は、お客様負担でお願いします。

△ 注意 ・ステンレスバンドでの取付けは、万一落下しても事故の起こらない場所に取付けてください。
・ステンレスバンドを使用する柱には傷がつく場合があります。

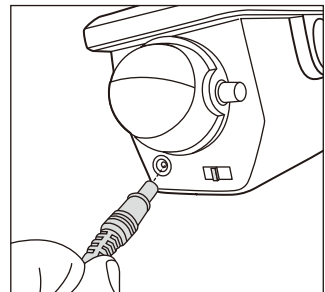
①ステンレスバンドを本体後部の穴に通して、柱、パイプに巻きつけます。

②丸いパイプに取付けの場合、縦向きのパイプには取付けできますが、横向きの丸パイプに対しては、本体の重みで回転してしまう可能性があるため、取付けないでください。



ソーラーパネルの差込プラグの差し方

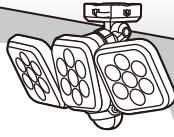
ソーラーパネルの差込プラグを本体の差込み口までしっかり差込みます。



14. 設置例

※本機の箱の設置例の写真も参考にしてください。

天井の設置



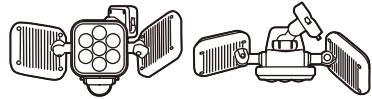
ブラケット調整位置



コーナーの設置



ブラケット調整位置



狭い通路の設置



ブラケット調整位置

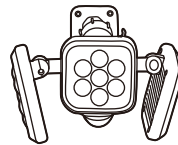


設置後の本体位置の確認

・本体が正面から見て傾いていると
センサーが誤作動します。

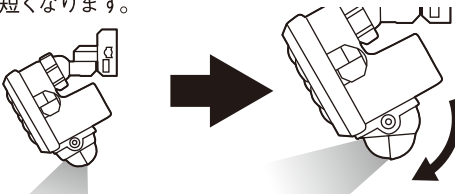


・正面から見て地面と水平にします。

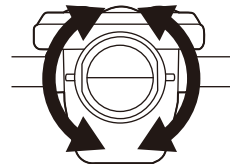


センサー位置の確認

・センサーが下に向き過ぎていると
探知距離が短くなります。



・センサーを探知したい方向に向けます。

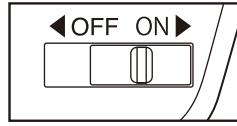


15. センサー探知の確認

- ① 時間ツマミを「5秒」に回す
点灯ツマミを「昼」に回す



- ② 電源スイッチをONにすると
ライトが点灯します。



点灯 ▶ 消灯

初期動作安定のため、約5～30秒後に消灯します。
※点灯中は、探知範囲に入らないでください。
※製品・設定により、点灯時間が異なる場合があります。

- ③ センサー探知範囲に入り、すぐに出る。

点灯 ▶ 消灯

約5秒後に消灯

注意

※「4.ご使用前にご確認ください」を参照し、晴天の日に約2日間以上充電した後、使用してください。点灯、消灯しない時は「20.故障かなと思ったら」を参照してください。

16. センサーをお好みのモードに調整

- ① (点灯) 明かりセンサー調整

「昼」周囲が明るくても暗くても点灯・「夜」周囲が暗い時のみ点灯

- 点灯させる周りの明るさ調整は図1のようにツマミを「昼」～「夜」に回すことで、点灯を調整することができます。
- ※夜でも他の照明の光が当たるとは夜側に調整します。
- ※実際に点灯させたい明るさの時に調整してください。



- ② (時間) 点灯時間調整

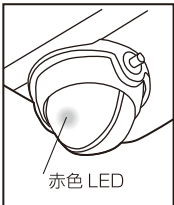
5秒、20秒、20秒点滅の切替

- 点灯時間の調整は、時間ツマミを回してツマミの突起を設定したい位置にあわせてください。
- ※ツマミ角度は時間と比例しません。
- ※センサーの探知範囲に入り、点灯を確認後すぐに探知範囲外へ出てください。
- ※探知範囲に人がいつまでもいると点灯時間が延長され消灯しません。
- 点滅に設定している場合、点滅が延長されます。



17. 状態表示赤色LEDについて

センサーレンズ内の赤色LEDで本機の状態を確認します。
※赤色LEDは微かな明るさです。周囲が暗くなってから確認してください。

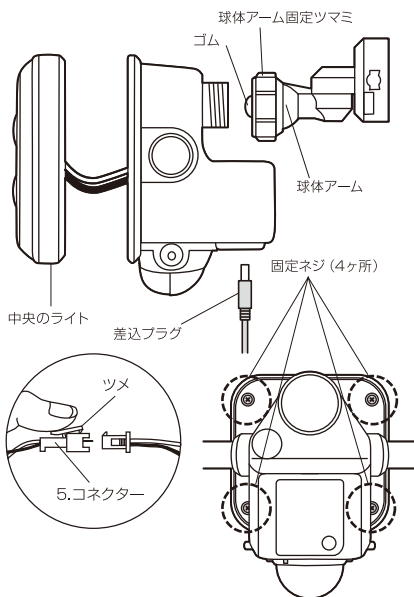


① 5秒に1回点滅	② 高速に点滅	③ 1秒に1回点滅	④ 点灯しない
正常な待機状態です。	センサーが探知→ライトLEDが点灯します。※点灯ツマミを夜に調整で周囲が明るい場合はセンサーが探知するとライトLEDは点灯しなくても高速点滅します。	充電不足です。 “4.ご使用前にご確認ください”を参照し2日間以上充電してください。	電源スイッチがOFFになっています。ONに切り替えてください。または充電池が完全に放電しています。

18. 部品交換について

バッテリーの交換

1. 本体の電源スイッチを”OFF”にします。
2. 差込プラグを本体から取外します。
3. 球体アーム固定ツマミをゆるめ、本体を球体アームから取外します。
(重要) 球体アームの先端に、ゴムを取付けています。このゴムは外れやすいので、紛失しないよう十分注意してください。
4. 右図の固定ネジ(4ヶ所)をゆるめ、中央のライトを本体から外します。
(重要) 中央のライトは、本体と配線され、つながっています。断線しないよう十分注意してください。
5. バッテリーを取り出し、コネクタのツメを押しながら、コネクタを外し、バッテリーを取外します。
6. バッテリーの取付けは、逆の要領で行ってください。
7. 4で外したネジを取付けます。
(重要) ネジを取付ける時は、しっかりと締め付けてください。締め付けが不十分な場合、雨などで内部に水が浸入し、故障の原因となります。
8. 球体アームに本体を取付け、球体アーム固定ツマミを締め付けます。
9. 差込プラグを本体に差し、本体の電源スイッチを”ON”にします。



バッテリー (3.7V 3600mAh) のお買い求めについて

バッテリーは本機をお買い上げの販売店へご注文してください。

なお、入手困難な場合は直接弊社に、ご注文いただければお送りいたします。

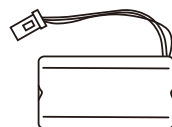
※ただし、代金は前金でお願いします。
郵便切手でも結構です。

[品番 S-90LB]

替バッテリー

(リチウムイオン充電電池3.7V 3600mAh)

定価 ¥4,800 (消費税・送料込)



19. お手入れの仕方

本体は中性洗剤をふくませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないよう、よく拭きとります。



本体をベンジンやシンナーや研磨剤で拭いたり、殺虫剤をかけないでください。ひび割れ、引火、感電のおそれがあります。



本体の取付けネジやクランプは、年に1~2回ゆるみやガタつきがないか点検してください。



ソーラーパネルの表面の汚れの拭きとりは、年に1~2回実施してください。中性洗剤、又は水をふくませた布で拭いた後、乾いた柔らかい布で中性洗剤が残らないようによく拭きとります。



ソーラーパネルとライト本体の取付けネジは、年に1~2回ゆるみやガタつきがないか点検してください。



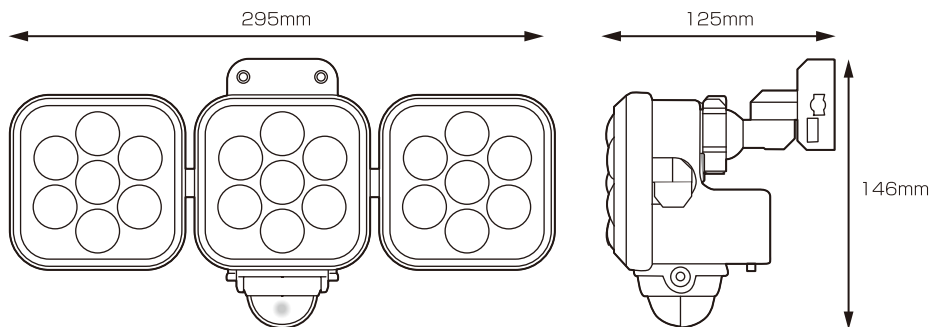
※本機は防水構造ではありません。散水ホース等での水洗いはしないでください。
故障や引火感電のおそれがあります。

20.故障かなと思ったら

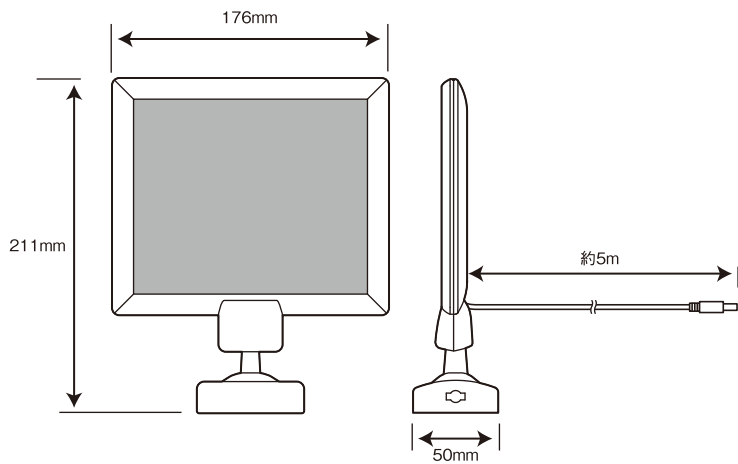
現象	考えられる原因	処置
点灯しない	バッテリーの充電不足。	ソーラーパネルを太陽光の当たる場所に置く。(ソーラーパネルの汚れを拭きとる)電源スイッチをOFFにし、晴天日の約2日間で満充電にする。
	電源スイッチがOFFになっている。	電源スイッチをONにする。
	点灯ツマミが夜の設定で、昼または明るい場所に設置している。	点灯ツマミを昼側に回し、調整してください。
	ソーラーパネルの差込プラグが本体から外れている。	ソーラーパネルの差込プラグを本体の差込口に差込む。
	ソーラーパネルのケーブルが傷んでいる(芯線の露出、断線など)。	使用を中止してください。本体、ソーラーパネルの一式を当社宛てに修理としてお送りください。
	探知範囲の設定が適切でない。	探知範囲を調整する。(探知させたい方向に向ける)
	センサーに向かって直進している。	本機に向かって直進した場合、探知が鈍くなります。
	センサーレンズが汚れている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとる。
	蒸気や雨などの水滴がついている。寒冷地などで顔がマフラーで覆われている。手袋をしている。	本センサーは人の動きによる温度変化分を探知するため、左記のような状況では探知しにくい場合があります。
点灯しない 周囲が暗いのに探知範囲に人がいても点灯しない	探知部に他の照明器具の光が入っている。	点灯ツマミを昼側に調整する。他の照明器具の光が入らない場所に設置する。“10.センサーの探知範囲”を参照にレンズ上部に黒のビニールテープを貼付する。
消灯しない	探知範囲内に人がいる。	探知範囲外に移動する。
昼なのに点灯する	点灯ツマミが昼になっている。	点灯ツマミを夜にする。
探知範囲に人がいないのに点灯する	探知範囲内に誤動作源がある(例) ・他の照明器具・エアコンの吹出口 ・犬や猫などが動いている。 ・風などでよくゆれる物(看板、旗、植物等) ・車の熱やヘッドライト ・強いノイズ(無線ノイズ等)	誤動作源を取り除く(左記に該当する物があれば取り除くか本体を移動する)
探知範囲に人がいるのに消灯する	時間ツマミが5秒になっている。	時間ツマミを20秒にする。
	探知範囲内で人が静止している。	本センサーは静止している人は性能上探知できません。
探知距離が短い	センサーレンズが汚れている。	探知部(センサーレンズ)をやわらかい布で傷が付かないように拭きとる。
	センサー方向がずれている。	センサーを探知させたい方向に向ける。

21. サイズ

ライト本体



ソーラーパネル



22. 仕 様

本体		
電 球	5W×3灯高輝度白色LED (設計寿命約4万時間) ※1 全光束約1400ルーメン	
電 源	充電電池	リチウムイオン充電電池 3.7V 3600mAh
1日平均点灯回数	点灯時間を20秒にした場合 春夏秋 平均約35回 冬 平均約25回(満充電時約125回) 点灯時間を5秒にした場合 春夏秋 平均140回 冬 平均約100回(満充電時約500回) ※春夏秋=充電可能な平均日照時間 約3時間 冬 =充電可能な平均日照時間 約2時間(東京)	
センサー	探知方式	焦電型赤外線センサー
	探知範囲	約140° 最遠約8m
点灯時間設定	約5秒、約20秒、約20秒の点滅	
点灯切替機能	昼(周囲が明るくても暗くても点灯)	
	夜(周囲が暗い時のみ点灯)	
サイズ(mm)	約幅295mm×奥行125mm×高さ146mm	
重 量	約650g(クランプ除く)	
クランプ取付サイズ	・厚み/最小約15mm~最大約100mm ・パイプ径/最小約30mm~最大約85mm	
設置場所	屋内・屋外用(防雨タイプ IP44)	

ソーラーパネル	
種 類	結晶太陽電池
出 力	出力 6.0V 2.0W
サイズ	約幅176mm×奥50mm ×高さ211mm(クランプ除く)
コード長さ	約5m
クランプ取付サイズ	・厚み/ 最小約15mm~最大約110mm
	・パイプ径/ 最小約30mm~最大約75mm
重 量	約400g(クランプ除く)
設置場所	屋外用(防雨タイプIP44)

※1 LED球は交換できません。

LED球の寿命は設計寿命であり製品の寿命を保証するものではありません。

LED素子にはバラツキがあるため、同じ品番のセンサーライトでも光色・明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

